

■ご挨拶

理事就任のご挨拶

日本風力発電協会 理事 柴田 英治

株式会社日本製鋼所 室蘭風力製品部 品質保証グループマネージャー



はじめに

昨年度に引続き当協会の理事を務めさせて頂きます日本製鋼所の柴田でございます。2013年度の1年間と昨年度、当協会の理事を務めさせて頂きました。

今回は2年目の理事拝命となりますが、国内の風力業界伸張のために皆様と共に努力して参りますので、宜しくお願い致します。

自己紹介

私事ながら、日本製鋼所に入社して30年超となりますが、入社から11年間は鍛造プレスやマニプレータ、及び建材やFRP製品等を成形する大型プレスの電装設計に従事し、その後の当該製品の受注低迷から「自分で売って来い」の社命により営業へと異動、更に2000年頃より始めた風力事業の立ち上げと共に営業と設計部門に係り、現在に至っております。現在は北海道室蘭で風力の品質保証なる部署に在籍しておりますが、一体私は何屋さんなのか？自分でも良く分からないのが本音です。

当社風力事業の歩み

当社に於いては1990年代後半の鉄鋼不況の中で新規事業を探索する中、それまで製造販売していた前述の大型プレスや付帯設備等の産業機械に関する設計技術を基にし、2000年より海外風力発電機用タワーを自社内で製造開始し、その後国内に120本以上納入することが出来ました。またその頃より海外メーカの風力発電機を輸入販売し、且つEPCへも取組むことで風力の技術導入を図って参りました。

その後、世界の風力発電事業が拡大していく状況を踏まえ、2005年頃より34mブレードを自社内で製造し、ほぼ同時期に2MW風車の設計製造を開始し、現在までに130基以上の納入実績があります。2013年には2.7MW風車初号機を開発製造し、世界の潮流である大型化へも対応して参りました。まだまだ前途多難な事業ではありますが、これまでの数々の経験を生か

した事業展開を図り、日本に於ける風力業界の拡大、産業振興、雇用拡大に貢献出来るよう努力していきたいと考えております。

当協会への期待

風力業界を取り巻く環境は依然厳しく、国内の設備容量拡大のためには、環境アセスメントの要件緩和などの各種関連法の規制改革、系統連系を容易に且つ連系可能容量を拡大させるための連系制約の緩和、固定価格買取制度条件の維持による事業開発意欲の推進、国内の合意形成を得る等、風力業界の伸張のために当協会の位置付けは大変重要であると言えます。加えて、公衆波及事故を未然に防止するための取組みも非常に重要であり、今年度より施行された定期安全管理審査制度が適正な形で実施される必要があります。

当協会が急速に拡大していることは全会員の風力業界への期待の表れであると共に、社会的な地位が高まったことでもあり、且つ社会的な義務や責任も高まっていることと思います。

日本国内の風力発電業界が今後健全に発展するために微力ながら貢献出来ればと思っておりますので、宜しくお願い致します。



島根県江津市 2MW×11基